



オーストラリア・ウーロンゴン/シドニー



OKC SINCE 1985

# 専修大学 夏期留学プログラム

## ウーロンゴン大学語学研修と 海外インターンシップ

申込締切

2026年

5/12 (火)

16:30まで

期間：2026年8月4日 (火) ~9月5日 (土)

募集人員18名 / 最少催行人員10名



グローバルな思考と英語によるコミュニケーション力を身に付けよう！



専修大学国際交流センター  
手配：OKC株式会社



# 専修大学 夏期留学プログラム

## ウーロンゴン大学語学研修+インターンシップ スケジュール

### プログラムの特徴

1. ウーロンゴン大学で専修大学専用クラスの英語研修とインターンシップ準備プログラムに参加
2. シドニー市内の一般企業、学校、福祉施設などでインターンシップ（就業体験）
3. プログラム期間は全てホームステイ（ウーロンゴン及びシドニーにてホームステイを体験します）
4. OKCシドニーオフィスの現地スタッフ（日本語可）がいるので、初めての留学でも安心

### スケジュール

■ 2026年8月4日（火）日本出発、9月5日（土）現地出発

■ 研修先：ウーロンゴン大学+各インターンシップ派遣先

2026年3月現在

日付	詳細
8月4日（火）	日本出発 羽田空港発 空路 シドニーへ
8月5日（水）	シドニー空港到着 → ウーロンゴンへ移動 OKCスタッフとウーロンゴン大学のスタッフが出迎え、ウーロンゴンへ。 ホームステイ先に到着
8月6日（木）～8月21日（金）	ウーロンゴン大学附属英語学校で英語研修（約2週間） ※午前：General English（36時間） ※午後：インターンシップ準備のための英語研修（4日間、12時間） ※最終日に修了証が手渡されます ※専修大学専用クラスで実施
8月22日（土）	専用車にてウーロンゴンからシドニーへ移動 シドニー到着後、滞在中の諸注意やインターンシップにおけるレクチャーなど シドニー市内でのホームステイ開始 午後、ホストファミリーと対面
8月23日（日）	インターンシップ準備期間 各自、公共交通機関など、シドニーでの就業に備え、準備する。
8月24日（月）～9月4日（金）	インターンシップ（2週間） 一般企業、ツーリズム、語学学校、福祉施設、環境保護団体などでの就業を体験
9月5日（土）	OKC手配の送迎車またはホストファミリーがシドニー空港まで送迎。 シドニー空港発、同日日本へ帰国 空路 羽田へ

### 現地受け入れ会社について

■ Captain Cook Cruises

当社は世界中からインターンシップ生を受け入れていますが、特に日本からの学生は素晴らしい活躍を見せてくれます。積極的に仕事に取り組む姿勢と向上心には、私たちも大変感心しております。このプログラムは参加した学生だけでなく、我々のお得意様やキャプテンクッククルーズ社にとっても今後の大きな糧となるでしょう。今後もたくさんの日本人学生のインターンシップ受け入れができることを、楽しみにしています。



### 学校の紹介

■ ウーロンゴン大学附属英語学校 (UOW College)

ウーロンゴンはシドニーから車で1時間半ほどの、ビーチや美しい自然に囲まれた街になります。街の中心には、デパートやショッピングセンター、スーパーマーケットや主要な銀行が揃っています。大学は市内から5キロほど離れていますが、公共交通機関が充実しているため、生活には不便を感じません。また、附属英語学校所属の学生であっても、大学施設内の図書館やコンピュータールーム、スポーツ施設を利用できます。





経済学部国際経済学科  
吉田 佳月さん（3年次に参加）  
はじめの2週間の語学研修は、実践的な英語力を高めることやビジネス英語の学習に重点が置かれており、少人数クラスでディスカッションやプレゼンテーションを中心とした授業でした。語学研修を通して、英語を「勉強する」だけでなく「伝える」重要性を改めて実感しました。また、後半のインターンシップでは実際に職場で英語を使うことで、語学研修の学びがどのように現場で活きるのか実感できたときは、非常に有意義でした。



経営学部ビジネスデザイン学科  
上野 由希江さん（2年次に参加）  
私は自ら人に話かけに行くのが苦手な性格でしたが、この留学を通して現地の大学の方やインターンシップ先でのお客様に話かけに行くように意識した結果、少しは改善できたように感じています。また、留学では毎日英語で会話し、日本語が通じない環境に1人であるため、必然的に英語を話せるようになったということに成長を感じました。



国際コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科  
木村 仁美さん（3年次に参加）  
インターンシップ先のカフェでの仕事ははじめはレジでオーダーを聞き取ることがに苦戦しました。特にextra「hot」と「shot」の違いに聞き取れなかったことに悔しさを感じました。帰宅後にホストファミリーに発音してもらったり、インターネットで音声聞き続けてミスを防ぐことができました。

## インターンシップ（就業体験）について

ウーロンゴン大学での2週間のビジネス英語研修の後、シドニーに移動して海外インターンシップを2週間行います。

インターンシップとは、実際に企業等で「就業体験」をすることです。現地では、参加学生の語学能力や経験に合わせて一般企業、福祉施設、語学学校、ホテル等の業種でインターンシップを実施します。学生のアルバイトとは異なり、自分にできることを考え、自ら積極的に動く事が求められます。ウーロンゴン大学で学んだ英語力を実社会で試す良い機会になるだけでなく、海外での働き方や日本との違いを知り、就職活動を含めた将来の進路選択に役立つでしょう。

※ 各自の英語力により派遣先が割り当てられます。希望通りにならない場合があります。

### ■ 申込方法

応募を希望する学生は、専修大学国際交流センターのホームページ内にある「令和8年度夏期留学プログラム申込フォーム」より必要事項を全て入力し、「承諾書」を添付の上、送信してください。

\* 夏期留学プログラムと東南アジア・スタディツアーの併願申込が可能です。（第1希望から第3希望の入力可能）別紙「承諾書」については、in Campusの「ライブラリ」内にある「【国際交流事務課】留学プログラム関連情報」「夏期留学プログラム関連資料」に掲載していますので、応募前から計画的に準備を進め書類をOKC株式会社へ提出してください。また、作成にあたっては下記URLまたは右記QRコードより説明動画を必ず確認してください。

※日本国籍以外の学生は、別途申込時に提出する書類があります。詳細は、申込前に国際交流事務課までお問い合わせください。

### ■ 選考から出発までのスケジュール

選考・オリエンテーション	日程
書類選考	申込後～18日（月）
筆記試験	5月16日（土）
面接試験 ※該当者のみ	5月23日（土）
候補者発表	5月25日（月）
候補者オリエンテーション	5月30日（土）
事前研修①	6月6日（土）

選考・オリエンテーション	日程
事前研修②	6月13日（土）
渡航関係オリエンテーション及びビザ説明会	
海外安全セミナー	7月18日（土）
出発前オリエンテーション	7月25日（土）
出発	8月4日（火）

※事情により日程や内容が変更となる可能性があります。  
※上記以外にも留学プログラムに有効と考えられる研修が追加される場合があります。  
※原則生田キャンパスにて実施

### ■ 参考：インターンシップ派遣先一覧（一部）

TOEICスコア目安：上級730点以上、中級500-730点

派遣先	主な業務内容	語学力の目安
法律事務所	主に移民ビザ関連法を扱う法律事務所。一般事務のアシスト業務	上級
ホテル	ハウスキーピングや備品チェック・予算管理等 英語力によりフロント業務	上級
クルーズ会社	主に事務所内のオフィスワーク、顧客管理・PCデータ入力等のアシスト	中級
学習塾	日本語講師アシスタント、教材作成アシスタント等	中級
カフェ	接客、コーヒー等のドリンク作り、清掃等	中級

※上記の業務内容はあくまでも目安です。個人のスキルや英語力により業務内容は変更されます。  
※ここでの語学力は目安であり絶対条件ではありません。

### ■ インターンシップ申込書等の作成について

インターンシップ先選定のため、候補者決定後（5/25（月））直ちにインターンシップ申込書等を提出する必要があります。書類についてはin Campusのライブラリ内にある「【国際交流事務課】留学プログラム関連情報」「夏期留学プログラム関連資料」に掲載していますので、応募前から計画的に準備を進め書類をOKC株式会社へ提出してください。また、作成にあたっては下記URLまたは右記QRコードより説明動画を必ず確認してください。  
動画：<https://x.gd/dqeLg>  
書類の提出先：[group27@koryu.co.jp](mailto:group27@koryu.co.jp)（一部Google form）



インターンシップについて



オンライン申込フォーム

◆ 応募条件:

- ① 参加を希望するコースの言語を学内または学外等で学んでいること
- ② 参加目的が明確なこと(観光目的ではないこと)
- ③ 心身ともに本留学プログラムの参加に支障がないこと  
既往症・現在症・持病等のある学生は、医師からの診断書の提出を求める場合があります。申込前に国際交流事務課に相談してください。
- ④ 異文化に柔軟に適應でき、団体行動がとれること
- ⑤ 本留学プログラムの全日程(事前事後研修・オリエンテーション含む)に参加できること。
- ⑥ 留学諸手続き及び留学プログラム参加中において、研修校、研修委託先及び本学の提示に従うこと。
- ⑦ 保証人の承諾が得られること  
※なお、本プログラム対象者は本学在学学生(休学者を除く)のみとなります。

◆ 催行人数:

選考の結果、候補者が10名に満たない場合、本プログラムは中止となります。

◆ 選考方法:

- ①各コース共、筆記試験及び書類審査の総合評価により選考します。筆記試験及び書類審査の結果、面接試験を行う場合があります。面接試験対象となった応募者には、国際交流事務課よりin Campusの「個人宛のお知らせ」にて連絡します。面接試験を実施する場合は、原則5月23日(土)に行います。
- ②必ずしも第1希望の研修校に決定するとは限りません(第1希望以外の研修校に参加する意志がない場合は、参加フォームの第2希望留学先は「なし」を選択してください。
- ③夏期留学プログラム2度目の参加者(同一言語コース)は優先順位が下がります。
- ④筆記試験は生田キャンパスで実施します。

◆ 研修日程・研修/旅行代金:

研修日程 8/4(火)~9/5(土) <33日間>	
研修費用	1,090,000円 ※1
燃油サーチャージ及び現地空港税等 (上記研修費用のほかに必要となります。)	21,000円 ※2
事前研修費用及び留学プログラム申込金	9,900円

※1 研修開始前において為替変動や運送・宿泊機関等の料金改定、海外旅行保険料、危機管理対策保険料の改定及びその他の事由により当該研修費用を変更することがあります。変更となった場合にかかる費用は自己負担となります。研修費用は大学からの補助金(45,000円)を差し引いた金額になります。

※2 各航空会社が設定する燃油サーチャージ(燃油特別付加運賃)、空港税、日本国内空港使用料を含んでいます。正式な総費用は候補者オリエンテーションにてお知らせします。

◆ 研修費用の支払い:

候補者決定後、本学及び研修・旅行取扱会社の指示に従い、研修費用を指定する銀行口座に振り込んでください。海外旅行保険料及び危機管理対策保険料(J-TAS)については、研修費用とは別に各自がクレジットカードで支払います。支払い方法の詳細については、候補者オリエンテーションにて説明します。  
※支払いには研修・旅行取扱会社によるローンを利用することができます。ただし、利用の際には審査があります。

◆ 研修参加の取消

候補者決定後、やむを得ない理由により参加を取り消す場合は、取り消しによって生じた所要経費相当額(キャンセル料)を支払うことになります。また、候補者決定後、参加を取り消す場合は留学プログラム申込金(2,400円)の返金はできません。さらに、事前研修開始後に参加を取り消す場合は、参加取消後の事前研修に出席しない場合でも、事前研修費(7,500円)の返金はできません。

◆ 研修費用に含まれるもの:

- <研修費用>
- ☆交通費:航空運賃(燃油サーチャージ込み、現地空港税等を除く)、現地における団体での利用交通機関の運賃
- ☆授業料、教材費、プログラムに含まれる課外活動費(インターンシップ費用等)
- ☆宿泊費:研修先の宿泊費用
- ☆食事代:研修先での食事代 平日2食(朝・夕) 土日3食(朝・昼・夕)(研修スケジュールや研修校等の事情により変更する場合があります。)
- ☆団体行動中の税金・チップ
- ☆渡航関係手数料
- <現地空港税等>
- ☆空港税 ☆国際観光旅客税 ☆国内空港施設使用料、航空保険料、旅客サービス料
- <事前研修費用・留学プログラム申込金>
- ☆専修大学が実施する事前研修の費用 ☆留学プログラム申込金

◆ 研修費用に含まれないもの:

- <事前・事後研修費用・留学プログラム申込金>
- ☆専修大学が実施する事前研修の費用 ☆留学プログラム申込金
- ☆海外旅行保険:東京海上日動火災保険株式会社 学研災付帯 海外留学保険(15,660円)
- 保険取扱:株式会社 専大センチューリー(神田キャンパス)  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-10-3 / TEL:03-5215-1260
- ☆天災等不可抗力事由によって生じた費用 ☆超過手荷物手数料 ☆現地での通学交通費 ☆プログラム費用に含まれない食事代
- ☆危機管理対策保険:J-TAS(JCSOS トータルアシスタンスサービス):2,400円
- 取扱:特定非営利活動法人 海外留学生安全対策協議会  
〒150-0002 渋谷区渋谷2-12-15 日本薬学会長井記念館ビル1F / TEL:03-6418-0717
- ☆オプションツアー参加料 ☆研修費用振込手数料
- ☆査証:ビザ申請費用(約AUS\$200)  
※インターンシップを行うため、訪問ビザ(サブクラス600)を取得します。候補者決定後に実施するビザ説明会にて申請手続きを行い、その際ビザ申請費用実費(約AUS\$200)を本人名義のクレジットカードにて支払う必要があります。  
※オーストラリアのETA(Electronic Travel Authority:電子渡航許可)を取得したことがあり、応募時点で有効なETAを所持している学生は、申込時生田キャンパス国際交流事務課窓口または神田キャンパスグローバルカウンターに申し出てください。  
※日本国籍以外の学生については、留学にあたり上記と異なる手続きでビザを取得しなければならない場合があります。ビザ発給に係る手続きは大学が定めた期限までに各自の責任において行い、ビザが発給されなければ渡航できません。なお、ビザ申請手続きにかかる費用は全て自己負担とします。
- ☆旅券(パスポート)取得費用

◆ 単位認定:

本プログラム修了者は「海外語学短期研修1(2単位)」として単位認定されます。その際、プログラムの達成度により本学の基準で成績が評価されます。詳細は候補者オリエンテーションにてお伝えします。  
※4年生以上、大学院生及び同一言語コース2度目の参加者を除く

◆ 事後研修(帰国報告会):

事前・事後研修は、留学プログラムの一環として行いますので、正規授業等やむを得ない理由以外での欠席は一切認めません。

帰国後、事後研修として帰国報告会を行います。事後研修では留学の成果についての振り返りを行います。実施場所は生田キャンパスとなります。

◆ その他特記事項:ホームステイについて

ホームステイは、現地の一般家庭に滞在し、家族との共同生活を通じて、語学力の向上のみならず、異なる生活・文化習慣を理解することにその意義があります。ホームステイ先は、研修校によって割り当てられますが、家族構成(1人だけの場合もあります)や家庭環境、出身国はそれぞれ異なります。日本との文化・生活習慣等の違いを受け止め、参加者の皆さんが積極的な姿勢で臨むことによって充実した生活体験となるでしょう。また、ホームステイ先によっては、同時期に他の留学生を受け入れている場合等もあり、研修校のホストファミリーの手配状況により必ずしも参加学生1名につき1家庭が割り当てられるとは限らないこと、専修大学生同士で同じ家庭になる場合があること、他の留学生と受入れ条件が異なる場合があることを理解しておいてください。  
なお、研修校が手配したホームステイ先については、個人的な嗜好等の理由では変更できません。また、ホームステイ先の決定は出発直前(1週間前頃)になります。

◆ 追試験について

本プログラムは、前期試験終了後に順次所定のスケジュールで出発します。そのため、専修大学定期試験規程により追試験の受験対象となり、留学期間が追試験と重複した場合でも、追試験を理由に一時帰国または留学の中断をすることはできません。